

# 【君津地域①】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	木更津市	品種	アキヒカリ
土性	砂土	播種日	3月19日
播種量	160g/箱	移植日	4月24日
幼穂形成期	6月10日	出穂期	7月6日
成熟期	8月17日	収穫日	8月22日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	78cm	穂長	18.9cm
穂数	554本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	1.5
粗玄米重	630kg/10a	標準単収値	524kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：13.5kg/10a ※肥料銘柄：飼料用米専用一発15
- ・(追肥) N量：－ ※肥料銘柄：－
- 追肥実施日：－

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：4月24日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：53株/坪
- ・植付本数(4～6本/株を推奨)：6.7本/株

## 4 考察等

倒伏も発生せず、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥 N 量	9 kg/10a (砂質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1～2mmの時期)に施用します